

## 第三十七回自由民主党大会における総裁挨拶

(昭和五十五年一月二十三日 日比谷公会堂)

わが党所属の国会議員、全国から参集された党員、党友の諸君、並びに各界を代表されるご来賓各位のご出席を得まして、第三十七回自由民主党大会が催されるに当たり、一言所信を申し上げます。

本年は、一九八〇年代の開幕の年であり、わが党にとっては、結党二十五周年に当たる記念すべき年でもあります。わが党の結党当時における政治上の争点は、日米安全保障が非武装中立か、単独講和か全面講和かといった、いわば外交防衛の基本にかかわるものでありました。そうした争点は、いまわが党が指向する方向に沿って、おおむね結着がつつつあります。

その間、わが国力は飛躍的に充実し、その国際的地位は著しく向上し、国民の生活は質量ともに目覚ましい進歩と発展を記録することができました。かくて、わが国は、この間、改善すべき諸課題を残しながらも、確かに内政外交とも、素晴らしい躍進をとげ、見るべき成果をあげてきたといわねばなりません。私は、国民の支持のもと、かかる大業をなしたげたわが党の先輩各位に、この際、改めて深甚な敬意と謝意を表したいと存じます。

しかしながら、一九八〇年代の初頭に立つて展望するとき、われわれは、容易ならざる時代にあること

を感じざるを得ないのであります。中東、南西アジア、アフリカ、インドシナ半島等においては、緊張した事態が相次いで生起し、戦後世界の平和と安全を支えてきた米ソ関係にも、微妙な変化が見られはじめております。イランにおけるアメリカ大使館の占拠と人質の拘束は、国際社会における法秩序に反するものとして、われわれの是認できるものではありません。また、ソ連のアフガニスタンに対する武力介入は、中近東の平和、米ソ関係の枠組をそこない、世界平和の基礎を危うくするおそれがあり、これまた、われわれのとつてい看過することができないものであります。われわれは、自由と民主主義のもとにおける世界の平和と安定を追求する立場から、強くこれらの動きに反対し、米国をはじめとする友好国と相協力して、この事態の速やかな解決のため適切に対処してまいらねばなりません。他方、急速に発展してきた世界経済は、国際的な相互依存の度を深めながらも、資源の制約とその価格の高騰、通商上の摩擦の激化等により、果てしない不安と流動の時代に突入しつつあるように見えます。また、内においても、エネルギー問題、財政の改革、インフレの抑圧、高齢化社会への対応等、焦眉の問題が山積してあります。

この間、国民の政治意識にももちろん大きい変化が見られました。国民は、大筋において民主主義と自由を基調とする体制を認めつつも、その上に多様な価値観を追求するようになりました。これをつけて、新しい政治勢力が続々と生まれ、無党派派も肥大化の一途をたどりました。かくして、二大政党対立を軸とするいわゆる一九五五年体制は崩れ去り、多党化時代を迎えることになりました。また、花々しかったイデオロギー対立と論争は色褪せ、政党間の垣根は、かつてのように高いものではなくなりました。こうした中であつて、野党間には、中道勢力の連合構想や、いわゆる革新政党を含む政権構想等が、活発な論

議を呼んでいるようであります。しかしながら、こうした動きは、長期にわたる責任ある路線とは受けとれず、せいぜい当面する選挙に対する戦術的対応の域を出ない、便宜的なもののように思われてなりません。大事なことは、この新しい時代に対応するわが党の姿勢であります。

わが党は、結党以来、政権政党として、わが国の政治に終始責任をもち続け、優れた成果をあげてまいりました。しかし、新しい時代は、新しい政治を求め、国民は、すべての政党に国民の向かうべき進路の明示と、これを着実に実現する実行力を期待いたしております。私は、わが党は依然としてこの要請に有効にこたえることができる見識と経験と実力を備えた唯一の政党であると信じます。もとより、政局の運営と政策の実行に当たっては、できるだけ野党の理解と協力を求めなければなりません。わが国における政治の責任は、わが党の力量で十分にこたえることができるものであり、またそれ以外の現実的な対応はないのであります。われわれは、一層の勇氣と創造力をもって、この責任にこたえなければなりません。これまでの情性に捉われない柔軟な姿勢をもって、より幅広い国民各層の要求を吸収し得る体制を整えなければなりません。また、わが党は、国民の間に新たな連帯と共感の環をつくりだす中核勢力として、揺るぎない信頼の基盤を確立し、強い行動力を発揮しなければなりません。

しかしながら、わが党は、長期にわたって政権を担当してきた間に、幾多の輝かしい業績をあげた反面、情性とおごりからくる数々のあやまちも犯し、国民から強い指弾を浴びました。誠に遺憾といわねばなりません。国民と政治の信頼関係、政党と支持者との連帯関係は、何をおいても、これを損ねてはなりません。新しい政治が、国民との新たな紐帯の強化を目指すものならば、その第一歩は、この政治と行政

にまつわる不公正を一掃し、国民の政治に対する信頼をとりもどすことであります。

そのために、わが党は、自ら襟を正し、率先して綱紀の肅正を断行するとともに、あらゆる手だてを講じて不祥事の再発防止に当たらねばなりません。また、わが党は、前途に対する展望を明示し、現実的で実効のある政策を策定し、課題の着実な解決に全力をつくさねばなりません。このことこそが、今日わが党に課せられたきびしい責任であります。

われわれが、全党あげて党改革に取り組むのも、まさにこのためであります。今次の党大会において、政治家個人のモラルを高める倫理憲章の制定、われわれの思想を深め行動を強める教育研修制度の拡充、着実なる党勢の拡大とこれにともなう組織の整備充実等の方針を決定するのは、その最低の要件を満たすためのものであります。

きたるべき参議院選挙は、新しい時代を占う最初の試験であり、わが党の命運を決する重大な岐路であります。われわれは、党のもてる力のすべてを出しつくして、勝利を手にし、政局を揺るぎないものとして、新しい時代の冒頭を飾りたいと存じます。

いま、新時代を迎えるに当たり、われわれをめぐる内外の情勢は、誠にきびしいものがあります。この事態に対処して、外に世界平和維持の努力を強め、内に自由と安全と豊かさを保持し、一億国民の生活を守らなければならぬわが党の使命は、きわめて重大であります。私は、志を新たに、諸君と力をあわせ、この責務を立派に果たし、栄光をとみに分かちあいたいと思えます。

わが党の限らない発展と皆様益々のご健勝、ご健闘を祈念いたしつつ私のご挨拶といたします。